

指定管理評価表(立花地区会館)

平成31年3月31日現在

施設概要	立花地区会館(尼崎市大西町1丁目14-5) 開館時間:平日9:00~21:00(休館日:水曜日、年末年始) 施設設置目的:市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るための各種研修、レクリエーション及び集会場の提供 事業内容:立花地区会館の使用に関すること及び施設の維持管理			
指定管理者の名称	尼崎中高年事業株式会社			
指定期間	平成29年4月1日~平成31年3月31日			
業務概要	立花地区会館の管理業務(①使用の許可、取消し等会館の使用に関すること、②使用料の徴収、減免及び還付、③施設及び供用備品の維持管理、④施設及び備品にかかる1件50万未満の補修工事及び修繕、⑤利用状況等統計 その他)			
利用状況等	項目名	平成30年度	平成29年度	平成28年度
	貸室利用者数	47,167 人	50,161 人	52,843 人
	貸室稼働率	26.8 %	28.35 %	29.11 %
	自主事業開催数	43 回	43 回	42 回
	自主事業参加者数	645 人	804 人	822 人
所管課・所管課長名	市民協働局 立花地域振興センター・中川 まゆみ			
評価対象期間	平成30年4月1日~平成31年3月31日			

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 サービスの質の維持・向上		C	自主事業においては、多様なプログラム及び年齢層を対象に実施しているが、事業終了後、継続して利用することまで結び付けることが出来ていない。
自主事業・指定事業	計画に沿って、積極的に自主事業・指定事業に取り組んでいるか		
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか		
施設利用者数	施設利用者の掘り起こしがされているか		
利用者要望の把握	利用者要望の把握がされているか		
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか		
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか		
2 適正な施設の管理		C	災害時や傷病者の発生などを想定した訓練を併設する保育所と合同で行い連携を図っている。利用者が快適に利用できる環境を整えるため、特に空調設備に関わる保守点検委託内容を見直した結果、利用者からの苦情はなくなっている。職員への研修については、採用時しか実施されておらず不足している。
施設保守・管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか		
職員体制	合理的な配置か、責任体制が整った配置か		
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか		
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか		
職員研修	職員研修が十分に実施されているか		
3 収支・経費節減		B	電力の使用量や紙の両面刷りの徹底などで経費の抑制を図っている。
収支状況	収支の状況が適正かつ良好であるか		
経費節減の取組	経費節減の取組みがされているか、		
4 指定管理者の経営状況等		B	適正な会計手続きがなされており、経営状況についても問題はない。
会計状況	適正な会計手続きがなされているか(監査報告書等による)		
経営状況	経営状況は良好か(貸借対照表、損益計算書等による)		
5 その他		B	文書等は、適切に管理されている。備品に関しては、備品現在簿と照合しての定期的なチェックがされている。
文書等の管理	文書類、帳簿、備品、資料等が適切に管理されているか		
評価の実施	内部評価を実施しているか		

指定管理者選定に係る事業計画書の主な取組内容	左記に関する取組状況とその取組に対する評価
<ul style="list-style-type: none"> ・特定の層に偏らない自主事業 ・活動グループとの連携事業 ・夏祭り ・会館まつり 	活動グループとの連携事業として、例年開催している「夏祭り」及び「会館まつり」に加え、夏休み期間中に地域の子どもや親子に対して体験活動を実施する「夏休みオープンスクール」を新たに実施した。この事業により活動グループは、日頃の自己の学習の成果を地域社会に活かすことができ、参加者からも好評を得た。

総合評価	総合評価の理由、今後の課題等
B	管理運営面や経費削減については、普段から施設の点検を行い、故障箇所については早期の対応により、老朽化が進む施設でありながらも利用者から苦情が寄せられない環境づくりに努めている。また、職員間でも共通認識の下で経費削減に取り組んでいる。以上の点から、総合的に良好な管理運営を行っている。一方で、利用者減少傾向については更なる利用者確保への取組に努める必要がある。

- ※ 評価は、A~Eの5段階評価とする。
 ※ 確認調査の結果をチェックリスト等に記入する。更に1~5の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。
 ※ A:非常に良好である又は非常に成果があった。 B:やや良好である又はやや成果があった。 C:取組状況の水準が普通である。
 D:やや改善の余地があった。 E:多くの改善すべき点が見受けられる。